

1740

軍機

第一機動艦隊機密第三充號

昭和十九年十一月十日

機動部隊本隊

9/10

1 捷一號作戰戰鬥詳報

自昭和十九年十月三十日
至同 年十月二十九日

比島沖海戰

第一機動艦隊司令部

部

別 二、百、九、八、七、六、五、四、三、二、一、

作戰計畫

目次

出撃準備、情況

出撃日時決定、経緯

航路選定ニ關スル事項

出撃前後ニ於ケル敵情、茲ニ友軍、情況

GF 作戰命令

出撃以後、實施經過、概要

吳入港後採リタル處置

KMB 戰果

所見

參考 (イ) 戰訓 (ロ) 天氣圖

紙 航空作戰指導經過、概要

(終)

自昭和十九年十月二十日
至同 十月二十九日

機動部隊本隊捷一號作戰戰鬥詳報

第一機動艦隊司令部

一、作戰計畫

3

(1) 機密機動部隊命令作第七六號

機動部隊捷號作戰要領

(略)

(2) 機密機動部隊本隊命令作第一號

機動部隊本隊捷一號二號作戰要領

(略)

(3) 兵力

機密機動部隊本隊命令作第一號

2.

(3)

8721

4

第一軍隊區分ノ通(但シ木曾ヲ除ク)

出撃時ニ於ケル35f搭載ノ航空戦力

零戦 52 零戦(爆) 28 天山 25 彗星 7

九七艦攻 4 計 116 機

大淀 水偵 2 機

(二) GF機密第一九一三〇番電ニ依リ ZYBヲ情況ニ依リテハ

KMBニ復級セシメラルトノ報ニ依リ ZYB KMB復級ノ場合ノ

作戦ニ關シ發令ス

機動部隊電令作第六二號(機密第一〇〇〇ニ一番電)

ZYB本職指揮下ニ復級後ノ機動部隊ノ作戦ハ機動

部隊捷號作戦要領ニ依ルノ外左ノ通

ZYBハ呂宋海峡東方ニ進出 KMBニ策應敵機動兵力ヲ

菲島東方海面ヨリ北方ニ牽制誘出シ YBノ突入

5

作戰ノ必成ヲ期スルト共ニ殘敵掃滅ニ任ズ

1. KAMBノ行動豫定機密第一九〇八三一番電ノ通

X-1乃至X-2日菲島北東海面ニ進出航空攻撃ヲ開

始ス(1YB突入日ヲX日トス)

2. 2YBハX-2日呂宋海峡東方ニ進出敵ヲ牽制シツツ偽

電實施シKAMBノ北方ヨリスル翼側航空攻撃ノ必成

ヲ期スルト共ニ爾後KAMBノ前衛トナル如ク行動ス

3. 好機ヲ捕捉セバKAMB 2YB全カヲ擧ゲテ敵分カトノ決

戦ヲ期ス

4. 敵情ニ依リ2YBヲシテ呂宋島東方海面ニ進出機動

セシム

5. 機宜4sf 6lag 4lagヲ2YBニ編入敵水上兵力トノ決戦ニ

備フ

3.

二、出撃準備、情況

十月十日來沖繩、台灣方面ニ敵機動部隊來襲シ十
 二日基地航空部隊捷一號捷二號作戰發動セラレタリ
 35f 45f、基地作戰可能航空全カハ6FGB指揮官、作戰指
 揮下ニ編入セラレ同部隊ハ爾來轉進中ナリ
 又2YB(21S/1sd)ハ十二日十三日基地航空部隊ノ戰果ニ策
 應殘敵掃蕩ヲ令セラレ十四日出撃セリ
 從ツテ機動部隊本隊ノ固有兵力ハGF捷號作戰要
 領ト著シク異ルニ至レルヲ以テ十七日、スルアン島方
 面ニ敵攻略部隊出現スルヤ直ニ首席參謀ヲ吳ニ
 派遣シ機動部隊本隊ノ捷號作戰ニ關シGF司令部
 ト打合セヲ行ハシメタリ飛行機隊ハ653fg 634fgノ轉進中
 内地殘留ノモノ及601fg中着發艦可能ノモノヲ以テ編

制スルコトトシ 35f 母艦ヲ大分基地ニ集メ悪天候ヲ冒シ
二十日午前其ノ揚收ヲ完了セリ
十七日捷一號作戰警戒十八日捷一號作戰發動セラレ
當隊ハ十九日作戰打合セテ水上艦艇ハ八島錨地
飛行機隊ハ大分基地ニ於テ實施シ二十日午前中ニ
出撃準備ヲ完了セリ
尚右ノ外補給部隊仁榮丸、たかね丸及秋風其他
海防艦四隻ハ集結遅レタルヲ以テ 11sd 参謀ヲシテ補給
部隊ノ進出ニ関シ戦務ヲ補佐セシメ二十三日中ニ奄美
大島ニ進出ヲ命ジタリ

3541
三、出撃日時決定ノ経緯
GF司令部ニ於テハ始メ、×日ヲ二十一日トシレイテ島

サマル島敵揚陸点附近ニIYBノ突入ヲ期待シKaMBノ
 出撃ヲ十九日ニ要望アリ然ルニIYBニ於テハX日ヲ
 二十五日乃至二十四日其ノ後補給ノ關係上二十五日
 黎明ニ非レバ不能ナル旨通報アリ
 當隊ニ於テハ飛行機收容ノ關係上二十日午後ニ
 非レバ出撃不能ナル旨連絡スル所アリシガGF IYBニ於テ
 X日ガ二十四日二十五日何レニ決定セラルルヤ未定ナ
 リシモ敵KaBガ當時菲島東方海面ニアリ甬後ソレヨリ
 南下スル場合ヲモ考慮シKaMBノ第一次航空攻撃ヲ
 乃至X-1日ニ選定シ且ツ豊後水道夜間出撃困難ナル
 点等ヲ考察ノ上自主的ニ沖島出撃ヲ二十日一七
 〇〇ニ決定其ノ旨報告ノ上出撃セリ

四、航路選定ニ關スル事項

航路ハ作戰命令通第一航路トシ各部ニ通報セリ然ル
ニ二十日夕刻豊後水道出撃ノ際敵潜ニ觸接ヲ受ケ
之ヲ東方ニ回避シ且ツ第一航路ハ次第ニ敵潜集マリ
ツツアルコト明トナレルヲ以テ其ノ儘第二航路ヲ採ルコ
トトセリ

9

五、出撃前後ニ於ケル敵情茲ニ友軍ノ情況

(1) 附圖第一ノ通

敵カBノ大部ハ比島東方300圈内海上ニアリ

四十九日來「タクロバン」方面ニ引續キ敵ハ上陸中

サマール、レイテ島一ハ。涅圈内ニ空母戰艦ヲ伴ヘル
相當多數ノ攻略船團蝟集シツツアリテ二十一日レイ

5

テ湾ニハ輸送船八十隻 B又ハC十五隻ニ及ベリニ十日ニ二三八大海參部ヨリノ報ニ依レバ敵ハ(a)レイテ島ニ個所ニ揚陸セリ (b)パナオン島デナガツト島北端ホモンホン島ヲ占領セリ
 (ハ)アングマンニコバル諸島方面ニ敵英機動部隊策動中

(ニ)尚「ウルシー」ハ敵ガ前進泊地ニ使用シアルモノノ如シナ九日NTFノ飛行機偵察ニ依レバ「アドミラルチー」方面空母六隻 B、C十四隻 C二十隻 d三十隻 T三十隻病院船二隻在泊中ナルヲ發見ス

(ホ)友軍ノ情况

(一) 2YB 0800 20馬公入港 0821 補給終了
 2YB GF 機密 八二一〇 一番電ニ依リ NSBニ編入

(二) IYB 二十日ブルネー進出ス尚 IYB ハサンベルナルヂノ海峡

通航

第三部隊 (2S 最上 ax3) ヲ スリガオ 海峡通航ニ

十五日突入ニ決定ス

(三) FGB ハ捷一號捷ニ號作戰ニ應ズル基地展開配備

概ネ完了

FGB ハX日ノ二日前ヨリ總攻撃ヲ決行ノコトニ内定

(四) EB GF 電令作第 三六五號ニ應ズル甲三散開配備

ニ散開中

(五) 口 GF 1200 20 第一作戰司令所

六GF 作戰命令

機密第ニ〇。八一三番電

GF電令作第三六三號

要旨

(一) IYB、タクロバン方面突入ヲ二十五日(×日)黎明時トシ所
在敵海上兵力ヲ撃滅次デ敵攻略部隊ヲ殲滅夜間
攻撃ス

(二) KMBハIYBノ突入ニ策應シ、ルソン海峡東方海面ニ機宜行
動シ敵ヲ北方ニ牽制スルト共ニ好機敵ヲ攻撃撃滅
スベシ

(三) GKF長官ハ菲島ニ集中スル全海軍航空部隊ヲ指揮
IYB突入ニ策應敵空母ヲ攻略部隊ヲ併セ撃滅ス
ルト共ニ陸軍ト協同速ニ海上機動反撃作戰ヲ敢行
敵上陸部隊ヲ殲滅スベシ

<p>20 2130</p>	<p>20 2030</p>		<p>20 1730</p>	
<p>YBGF ヲ本職直率トス GF電令作第三六七號（機密ニ。一八。ニ番電）</p>	<p>GFヨリメ日ハ二十五日ナル旨再度布告アリ</p>	<p>旨ヲ命ズ 當司令部ヨリ45f司令部ニ對シ研究シ置スベキ</p>	<p>機密ニ。一四。ニ番電 45f（日向、伊勢）6lag 4lag ハ牽制作戦實施後 狀況ニ依リ^{KaMB}ト分離「サマール島東方海面ノ戦 場ニ急行敵殘存兵力ノ撃滅ニ任ゼシメラルル内 意ニ付含ミ置カレ度</p>	<p>避シ爾後第二航路ヲ採ル GFサチ↓^{IKaF}サチ</p>

21 07	21 07	21 05	21 04	21 01	21 01
EB電令作(機密ニ〇ニ五ニ) 甲潜水部隊之潜水部隊、散開配備下令アリ	KMB 第一回索敵實施 別紙 KMB 捷號作戰航空戰經過ノ概要參照	ZYB 07 21 馬公出撃南下マニラニ向フ	CBニ〇ヲ二三ニ九番電 モロタイ基地哨戒機ハ IYB 發見ノ算大ナリ	給船ノ行動ニ關シ指令アリ 四八一號(機密ニ〇一七四五番電)ニ依リ全般ノ補 GF電令作第四七九號(機密ニ〇一七五番電)及	GF電令作第四八〇號(機密ニ〇一七一ニ番電)ニ 依リ仁策丸及たかね丸ヲ IKA 指揮下ニ編入

8.

21 23	21 2400	21 2130	21 1530	21 09
<p>奄美大島ニ進出ス</p> <p>ニ仁策丸ハ二十五日中ニ</p> <p>一、たかね丸ハ二十三日中ニ</p> <p>KMB補給部隊ノ行動(機密ニ二五〇五番電)</p>	<p>GF補給ノ腹案明示</p> <p>GF機密ニ二二二番電</p>	<p>NSB NSB 電令作第六七九號(機密ニ二二三四五番電)</p> <p>NSBノ5FGB 6FGB 編入後作戦方針明示</p>	<p>モ、如シ</p> <p>陸軍ヨリノ情報ニ依レバ、ラプラプ島ニ敵上陸セル</p> <p>33aBg 機密ニ二二五〇番電</p>	<p>U NSB 機密ニ〇八一五番電</p> <p>作戦解除ヘアングマン方面警戒ヲ解ク</p>

<p>22 0850</p>	<p>22 0850</p>	<p>22 0800</p>	<p>22 0600</p>	<p>22 0522</p>
<p>日向ヨリ信號ニテ左ノ報告アリ 敵カBラシキ敵信電話ヲ傍受六九七〇MC感三乃至 四敵針三四〇度空母四乃至六隻飛行機發着 中ト認ム</p>	<p>無線測定方位^{15°N}/_{131°E}精度Dナル旨通報アリ</p>	<p>3/cgヨリ機密ニ二〇四四五番電ニ依リ敵カBラシキモノ 認セルヲ以テカMBノ位置ヲ關係ノ向ニ通報ス</p>	<p>飛行索敵實施（九機） 別紙參照</p>	<p>初月雷跡發見一時之ヲ回避ス</p>

二十一日中ニ於ケル敵ノ配備ノ概要 別圖第二參照

22
|
0900

當時ノ敵情

一、二十一日マニラノ100' 235' 附近ニ敵KaBニ群アリ

第一群 (Ax1 aAx1 Bx4 其他約十隻)

第二群 (Ax1 aAx1 Bx5 其他約十二隻) 針路180°

二、無線謀報ニ依ルニ敵ラシキ艦艇「呂宋」ノ東方海面ニ約二十隻存在ス

三、サンベルナルヂノ海峡ノ東方ニ Ax2 aAx1/6 Bx2 Tx5/1 (約三群ニ分ル)

レイト湾内B、C十四乃至十五隻、下八十隻

判断並ニ處置

一、日向報告ノ敵信ハ最モ3/cg通報ノ敵KaBト關係アリト認メラル

敵ガ測定セル時刻ヨリ北上スルトセバKaMBハ午前中

22

2000 ← 1200

KaMB

千	千	瑞	供	洋上補給(速力一〇節) Co 90
歳	歳	鳳	給	
五十鈴	杉	多摩	艦	ノ
二〇〇	一〇〇	摩	受入艦	
七五	二五	二一〇	計	搭載量
			実際	
六〇二トン				實際補給合計量

二敵KaBノ索敵攻撃圈内ニ入ル可能性アリ
 二右ニ鑑ミ千後ノ索敵及電探哨戒ヲ行ヒツツ予
 定ノ補給ヲ行フコトトシ攻撃隊ヲ全力第二待
 機トナス
 三補給針路ヲ九〇度トシ敵飛行索敵ヲ成ルベク
 艱スト共ニ敵潜ノ追躡ニ備ヘ訓練未熟ノ故ニ對
 シ波浪ノ影響ヲ少シラシム
 四大淀搭載飛行機ヲシテ對潜哨戒ヲ實施ス

22

1340

第二艦隊機密第二一〇五三番電
 發第二艦隊司令長官
 一、YB 主力 (4S 5S 7S 15S 3S 25S 10S) 二十一日 〇八〇〇ブル
 ネイ 出撃 實速 十六節 「バラワン」 北方 〇。湮
 二十四日 日出時 「ミンドロ」 南方 雨 後 實速
 二十節 二十四節 同日 日没時 「サンベルナル
 ガ」 海峡 東口 X 日 〇四〇〇 「スルアン」 島 附近
 到達 泊地 突入
 二、第三部隊 (2S 最上 dx) 二十二日 「ブルネイ」 出

瑞鳳	千代田	千代田
大淀	田	田
桐	榎	桑
一〇〇	一〇〇	一〇〇
三〇	九七	七五

<p>22 2000</p>		<p>22 1200</p>	
<p>多摩雷跡ヲ發見 KAMB 之ヲ回避スニ。迄南下</p>	<p>2YB 1600 21 馬公發 07 23 マニラ着ノ豫定</p>	<p>別紙參照 天山三機ヲシテ索敵ス 航空索敵圈ニ含マレザル區域ニ對シ彗星ニ機 敵 KMB 最モ出現可能性大ニシテ基地航空部隊 第二回索敵實施</p>	<p>地突入 「スリガ」海經由「X」日日没時「ミンダナオ」海西口 「スリガ」經由 YB 主力ニ策應シ「X」日黎明時泊</p>

22 12	22 0245	22 20
<p>一判断</p> <p>(1) 敵ハ IYBノ概位ヲ知レルヲ以テ IYBノ行動阻止ニハ全カヲ盡スベク二十四日ニハ之ガ阻止攻撃手ニ適當ナル配備ニ在ルベシ</p> <p>(2) 十九日來ノ敵カBノ行動ハ始メ菲島呂宋東方海面ニ数個群アリシモ漸次南下ノ傾向アリ</p>	<p>補給後ヨリ二十四日〇六〇〇迄、行動決定ニ關スル判断並ニ處置</p> <p>33aBg ラアラップ島敵上陸ノ報ハ誤報ナルコト判明ス</p>	<p>GH長官訓示(機密第二二二〇五番電)</p>

發機 KAMB KAMB
 KAMB 指揮官
 機密第二二一六二四番電
 行動変更ヲ全軍ニ通報ス

(イ) 二十三日以後ノ對空警戒ヲ特ニ嚴ニス
 (ロ) 之ガ爲 06-24 20N 127°E ニ達スル如ク行動ス
 後南西ニ進撃手ス
 (1) 通信牽制ニ依リ敵ヲ北東方ニ誘致ス用

ニ處置要ス

(1) 二十四日菲島呂宋島東方海面ノ敵 KdB が「サ
 ンベルナルチ」ノ海峡東方ニ南下セル場合ニ
 於テモ KAMB ハ二十四日中ニ航空第一次攻撃ヲ
 敵ニ加ヘ之ヲ北方ニ牽制シ得ル配備ニ在ルヲ

12.

23 0531 1300	23 0630	23 0555
敵潜ヲ探知シ一時之ヲ回避ス	第四警戒航行序列トナシ對空警戒ヲ嚴ニス(輪形陣)	索敵機發進 攻撃隊第二待機 詳細別紙参照

二十二日中ニ於ケル判明セル敵兵力配備別圖第三ノ通

22 1624
KAMBノ行動左ノ通変更セリ 二十一日ニ000地点ヘ夕55ニ十三日0600ヘレ カ19 一六00ヘテソ 二十四日0600ヘカニ00 二十四日黎明時ヨリ航空戦開始

<p>23 夕刻</p>	<p>23 1500</p>	<p>23 1400</p>	<p>23 1130</p>	<p>23 0705</p>
<p>ヲ変更ス 近距離ニ敵潜水艦ノ電話ヲ方位測定シ一時針路</p>	<p>依ル作戰續行ノ旨通報アリ YB機密第三三〇九三七番電及二三一六三〇番電 YB指揮官ヨリ旗艦ヲ大和ニ変更シ既定方針ニ</p>	<p>通報アリ 司令官一時YBノ指揮ヲ執リ作戰續行中ナル旨 IS機密第三三〇二六番電 YB45カ0928V1170ニ於テ敵潜水艦ノ雷撃ニ依リ損害アリ</p>	<p>伊41潜水艦〇六三三敵艦上機二機ヲ地点ヘキウ24 ニ認ム進行方向北</p>	<p>敵艦載機ヲシキ電話聞ユ感四 P43 4000乃至5000ノ語アリ 右ニ依リ警戒ヲ嚴ニス</p>

23
1
刻

情況判断並ニ二十四日作戦指導要領ニ關スル
決心

一 情況判断

敵ハ概ネ我兵力配備ヲ了知セリ

(1) 敵ハ機動部隊及基地航空部隊ヲ以テ我

2YBヲ攻撃スルト共ニ1YBノ突入スルニ際シテハザン

ベルヂノ海峡東方及「タクロバン」方面ニ海上兵

力ヲ集中シ決戦ヲ求メントスベシ

(2) 海峡及海上ノ諸要點ニ潜水艦ヲ配備シYB

及 KAMBヲ攻撃セントスベシ

(3) KAMBハ20/22相當長文ノ電報ヲ發信シ其ノ後

敵潜水艦ニ數次會敵セリ

二十四日ノ KAMB 作戦指導ニ關スル決心

- (イ) 0600 地点 $19^{\circ}N$ $126^{\circ}40'E$ 二到達爾後針路ニ三五度
- (ロ) 〇五四五索敵機發進敵ヲ發見セバ第一次航空
攻撃ヲ實施ス極力艦内揚收トシ爾後邀撃
戦ニ備フ
- (ハ) 第一次索敵ニ於テ敵ヲ發見セザレバ一三〇〇頃
第二次索敵ヲ實施ス
- 敵ヲ發見セバ攻撃ヲシ級投ヲ薄暮ニ近キ時ハ全
機基地ニ級投セシム
- (ニ) KAMB ハ三二〇度ニ直進敵情ニ應ジ機宜行動シ之ヲ
北方ニ誘致ス
- (ホ) 航空攻撃ニ依ル牽制効ヲ奏セザルトキハ更ニ
第二軍隊區分ニ依ル前衛ヲ進出機動セシム
ル要アルベシ

23
1925

2YB 2YB

機密第二二〇〇番電
(2/5 15d) 八YB 第三部隊ニ引續キスリガオ海峡

但シ本作戦ハG7機密第二〇一四一ニ番電ニ依リ
G7司令部ニ於テ發動アルヲ建前ナリト考慮ス
(ハ)各艦燃料ノ搭載量ノ關係上二十四日航空戦
後一部ハ台湾方面ニ級投セシムルノ要アルベシ
(ロ)二十四日牽制誘致戦成之セズ敵KaBガIYB 2YB 突
入ト共ニ牽下スル場合ハ二十五日朝ヲサマシ
島沖ニ航空戦ヲ實施シ敵KaBヲ攻撃シ飛行
機ハ基地ニ揚陸シ牽制作戦ヲ行フ
右ノ場合航續距離小ナル艦艇ハ高雄馬公
方面ニ回航補給セシムルコトトシ 3sf 4sf 4lag 6lag 大淀
多摩ヲ以テ當前ノ作戦ニ當ラントス

23
|
2210

ヨリ突入作戰ヲ實施ス
二十三日夕刻 コロン着補給
二十四日〇二〇〇出撃
二十五日〇六〇〇点ヘスリガオ海峡入口

GF機密第二三二七一〇番電

發 GF參謀長

二十三日一〇〇〇ニ於ケルGF司令部、情況判断通

報アリ

（然ド當司令部、判断ニ一致スルヲ以テ前半畧

之）

我方策

（一）既定、作戰ヲ断行ス

（二）作戰實施上特ニ左記ヲ重視ス

15.

24 0020	24 0100	24 0040
九〇二九ノ百敵ノ大部隊ヲシキモノヲ探知ス	初月ヲ以テ制圧ス	KAMB 第一補給部隊 1800 23 奄美大島着

二十三日中ニ於ケル敵兵力配備 別圖第四ノ通

(イ) 機動部隊ヲ以テ極力敵ヲ北方ニ誘引攻撃
 我が水上兵力ノ劣ヲ補フ
 (ロ) 對潛對空警戒ヲ更ニ嚴ニシ特ニ狭水道ハ
 万策ヲ盡シテ敵潜水艦ヲ制圧突破ス
 (ハ) 敵機動部隊ガ我水上部隊ニ來襲スル好
 機ヲ把握シ基地航空部隊ヲ以テ敵空母
 ヲ撃滅ス

24 0900		24 0820	24 0530	
敵 Bx1 地点 フラア 0600 更ニ敵部隊見ユ Bx1 地点 ヘ7三ウ0六00	0806 グラマン六機進行方向北 0800 バタングス グラマン十八機襲撃中 0735 カビテ上空敵艦上機百三十機 0730 マニラ上空グラマン十数機 0720 敵グラマン十四機 マニラ方面ノ空襲状況	(マニラ、60°90°) (6FG 敵機報告) 敵ハ五群ヨリナル地点キヲア0800	詳細別紙参照 豫定ノ計畫ニ從ヒ索敵機ヲ發進ス	地点レヲニシヤ(マニラノ90°250°)

16.

24 1048	24 1005			24 0910
地点 ニカアア(マニラノ70°180)一〇三〇マクソン 隻 空母ヲ含む敵部隊見ユ空母ニ隻其ノ他十数 直ニ上空直衛三機ヲ配ス	日向ヨリ〇九四三 90°170 KMニ敵ノ編隊ラシキモノ ヲ探知シ其ノ後不明ナル旨通報アリ	雲高低ヲ視界一理附近ナル旨報告アリ 雨後敵機動部隊附近 天候不良スコールアリ	七番索敵機ニ對シ右空母群ニ對シ觸接ヲ下 令マシ且ツ天象偵察ヲ令ス	(マニラノ85°乃至90°百八十哩附近)(以上70索敵機) 空母ヲ含む敵部隊見ユ空母四地点ホヲ〇ヲ其 ノ他約十隻 CoE 〇八五三 9049

24
1115

九番索敵機ヨリ

一敵部隊見エ甘、在否不明、十数隻

地点フシニカ進行方向北二〇五(kaBノ位置ヨ

リ 210°
180°)

二敵附近天候視界20、雲高約三〇〇〇、雲量二

東方南方猛烈ナルスコールアリ二二〇

判断

一九番索敵機ノ發見セル敵kaBニ對シ全カヲ擧手ゲ航

空攻撃ヲ實施ス

二敵kaB附近ハ天象不良ナルコト多キヲ豫想セラルル

ヲ以テ本艦ニ飯投困難ナル場合ハマニラ、ニコルス

其ノ他基地口ヲ經テ呂宋島北部東方海面

ニ於テ收容ス

17

	24 1145	
<p>判断</p> <p>一當時IYBハ〇七三〇ヨリ敵飛行機ニ觸接ヲ受ケ 呂宋島東方海面ノ敵KaB群ヨリ150ノ附近ノ 距離ニ於テ連續空襲ヲ受ケ一八〇ニ至ル迄ノ交 戦ノ間ニ相當大ナル損害アリ</p> <p>ニ敵ハIYBノ作戰目的ヲ容易ニ察知シ全カヲ擧 ゲテ阻止スベク明日ハ更ニ決戦ニ備ヘ南下スベシ</p>	<p>針路ヲ70トシ攻撃隊 (fc x 40 fb x 28 fr x 2 f x 6)ヲ發進ス</p> <p>(詳細別紙参照)</p> <p>當時敵KaBノ位置約210°方向150ノ附近ナリ</p>	<p>三本艦ハ是ガ爲飛行機隊ヲ發進セバ西航飛行機 ヲ收容シ爾後敵情ニ應ジ行動スルコトニ定ム</p>

三我ガ發進セル35f飛行機隊ヨリハ甬後ノ報告ナ
 ク又九番索敵機ハ觸接ヲ失セリ
 四 KMBハ今ノ處牽制効果ヲ擧ゲ居ラサルヲ以テ極
 カIYBニ策應自己ノ損害ヲ顧ミズ之ヲ北方ニ
 牽制スルヲ要シ残ル方策トシテ航空攻撃ニ策
 應前衛(45² 6lag 4lag)ヲ進出セシメ敵ヲ有効ニ牽
 制スルト共ニ殘敵ヲ攻撃セシムルノ要アリ
 處置 次項ノ通
 但シ指導ノ腹案トシテハ前衛ハ牽制作戦ヲ
 主任務トシ夜戦ノ成算ナキトキハ速ニ離脱合
 同セシムルコトトス

KMB
 一 信電令作第二號發令(機密二四一四三九番電)
 二 第二軍隊區分トナセ

<p>24 1635</p>	<p>24 1725</p>	<p>24 1430</p>
<p>敵「カーチス」機見ユ且敵機ハ一六四五ノ位置 $\phi = 18.25^{\circ} N$ $\lambda = 125.76^{\circ} E$ Co = 270.ヲ報シ電探偽瞞 紙ヲ散布シ敵ハ了解符ヲ發セルヲ傍受ス 右敵機ヲ砲撃スルト共ニ對空機ニ機ヲ發艦セシ ム敵機ハ逃走ス</p>	<p>戰果確認ノ為出シタル當隊天山飛行機應答ナシ</p>	<p>二前衛(5機)日向伊勢(6機) (涼月欠) 4lag (霜月) ハ南方ニ進出好機ニ乗ジ殘敵ヲ攻撃々滅スベシ 三五〇頃偵察機二機ヲシテ日没頃迄地点フシニテ 附近ノ敵ニ觸接セシム 四本隊ハ一六〇〇頃迄西行飛行機ヲ收容シタル後 南東ニ向ヒ翌朝戰ヲ續行ス</p>

37

	24 1910	24 1752	24 1650
2F機密ニ四一六〇番電要旨	判断 GF電令作ニ從ヒ豫定通作戰スルコト、ス 一四〇度方向ニ進出。六〇〇ヨリ手持全航空 兵力ヲ以テ航空戦ヲ實施シ極力2F兵力、攻 撃兵力ヲ吸收セントス	GF電令作第三七二號 天祐ヲ確信シ全軍突撃セヨ	發 ^{KaMB} 指揮官友軍ニ通報敵艦上機 ^{KaMB} ニ觸接中ニ 四五位置地点ケレヨ4進路西速力十、六節 多摩ヨリ三〇〇度方向ニ敵味方不明、飛行機 二十數機認ブル旨通報アリ 針路ヲ一時北トナシ間モナク離脱ス

19

24 2110	24 2010	24 2000
<p>本日ノ敵カBノ戦闘ハYBノ作戰目的ヲ熟知シ之</p> <p>判断 茲ニ處置</p> <p>GF機密第二四一九五九番電</p> <p>YB機密第二四一六〇〇番電受領</p> <p>GF電令作第三七二號ノ通突撃セヨ</p>	<p>時全軍反轉北上ヲ命ズ</p> <p>反轉シアリ <small>KMB</small>ハ孤立スルノ恐れ大トナレルヲ以テ一</p> <p>令部ノ電報ニ依ルバ 2Fハ當時既ニ相當距離</p> <p>GF司令部ヨリ全軍突撃ノ令アリシモ右 2F司</p>	<p>判断 茲ニ處置</p> <p>YBハ敵ノ航空攻撃ノ損害ノ為一時敵機ノ空襲</p> <p>圏外ニ避退友軍飛行機ノ戦果ニ策應進撃</p> <p>スルヲ可トシ一六〇</p> <p>13°N 122°40'E</p> <p>針路 29° 速力 十八節</p>

<p>24 1830</p>	<p>24 2353</p>	
<p>セアリ 二十四日中ノ敵配備別圖第五參照</p>	<p>機動部隊本隊電令作第一五號 一本隊二十五日〇六〇〇地点ベンホ33針路一四〇度 速力十六節前衛及杉ハ本隊ニ合同スベシ ニ桐ハ單獨奄美大島ニ回航補給ノ上速ニ合同スベシ ソ司令部ヨリラモン湾東方ノ戦果ニ關スル問合</p>	<p>ガ攻撃ニ徹底セリIYB作戦ノカ脅威ヲ考慮スレバ 敵ハ二十五日モ恐ラク其ノ攻撃力ヲ之ニ集中スル ヲ予期セララルヲ以テKMB命令作第一號ノ通 ハ自隊ノ存亡ヲ堵シ飽ク迄モ牽制作戦ノ 心成ヲ期シIYBノ突撃ニ策應南東ニ進出翌朝 ノ作戦ニ備フルヲ要シ次項ノ命令ヲ發電ス</p>

<p>25 0400</p>	<p>25 0000</p>
<p>ZS 機密二四二〇一二番電</p>	<p>機動部隊本隊機密二五〇〇一四番電(戦闘概報其ノ一) 本日機動部隊本隊機密二四二三八番電ニ依ル當 隊航空戦戦果左ノ通 IYBノ作戦ニ策應全カヲ擧ゲテ地点フシニカノ敵 (距離150)ヲ攻撃シシ悪天候ト敵ノ障害ヲ受 ケ攻撃兵力分散セルモ兎ク敵空母ニ攻撃ヲ加ヘタ リ飯投セルモノ三機其ノ他ハ「ルソン」方面基地ニ飯 投セルヲ以テ戦果未詳ナリ 一六四五ヨリ二〇〇〇頃ニ至ル迄敵機ノ觸接ヲ受ケ 夕刻二十数機ノ近迫ヲ認メタルモ攻撃スルコトナク 避退セリ明日ノ實動機数零戦一九(内上空直 衛ノミ可能一四)戦爆五天山四彗星一</p>

0821

7 7
41

25 0635	25 0700	25 0530	
<p>90% 備ハ昨日ニ比シサンベルナルゲノ海峡方面ニ南下シアリ</p> <p>90% 子ニ依ル電探觸接機ノ報告ニ依ルニ敵kaBノ配</p>	<p>當司令部ノ令ニ依リ合同ス</p> <p>光ラシキモノヲ數回認メタリ</p> <p>モ33ニ於テ二三〇度方向大遠距離ニ發砲ノ聞</p> <p>大爆發ラシキ燄光ノ光芒ヲ認メニ二〇〇地点ヘワ</p> <p>地点ヘケレ43ニ於テ二二〇度方向遙カ遠距離ニ</p> <p>第六群合同ス第六群ハ分離南進中二十四日一九二〇</p>	<p>發隊指揮官</p> <p>當隊襲撃終了一應戰場ヲ離脱シ後圖ヲ策ス</p>	<p>25二十五日〇四〇〇ダラツグ沖ニ突入ノ予定(25 〇四五〇全滅ノ報アリ)</p>

21

25
-0550

ZAF 機密 二五〇四四番電

敵情綜合 第一群 (大部隊? 大型四 其ノ也?)

○一四〇 地点

第二群 (敵ラシキモ) ○三五〇 地点 ヤイ四ヶ

(サンベルナルチノ海峡ノ 75°50')

第三群 (大部隊) ○二二〇 地点 モエ一カ (第二

群ノ 190°60')

第四群 (大部隊) ○三三〇 地点 ノエ三ス

(第二群ノ 175°60')

第五群 (部隊) ○二〇〇 地点 ムエニイ (サンベル

ナルチノ海峡ノ 45°50')

右ノ内 第一群ト第二群ト同一部隊ノ算大ナリ

三飛行機隊ヲ發進シ直ニ全軍北上ス

<p>25 1100</p>	<p>25 1000 1010</p>	<p>25 0845 ← 0830</p>
<p>發 變 瑞 指 KAMB 更 鷗 揮 指 官 揮 官 密 二 二 五 二 〇 七 番 雷 電</p>	<p>第 二 次 空 襲 敵 機 三 〇 機 來 襲 交 戰 ス</p>	<p>第 一 次 敵 飛 行 機 隊 八 〇 機 來 襲 敵 艦 上 機 約 八 〇 機 來 襲 我 之 下 交 戰 地 点 ヘ ン ニ 13. 〇 八 一 五 瑞 鷗 魚 雷 一 本 命 中 (人 力 操 舵 中) 瑞 鳳 爆 彈 一 命 中 千 歲 傾 斜 速 力 一 四 節 其 他 二 十 節 附 近 〇 行 差 支 ナ シ 〇 八 三 〇 第 六 群 回 避 運 動 中 視 界 外 ニ 分 離 ス 被 害 詳 細 不 明 ナ ル 点 ア リ</p>

25 1100	25 0835
<p>前二項ニ鑑ミ、當隊ノ避退針路ヲ一先ヅ三三〇度トナス</p>	<p>大淀ニ移乗作戰ヲ續行ス二〇〇 當隊索敵機ヨリ敵部隊見ユ否不明 約十隻地点ヤル一カ ○八三〇(敵KaBハ我ノS約140) 尚詔空機密ニ四八四二番電 及偵察隊哨戒機 Q37ヨリ二十四日〇七一〇地点 川ウニ於テ敵艦上機ヲ認ムノ報アリ (沖大島、約125°140') 備考 敵KaB小笠原群島ノ南西ニ存在ノ疑ナシトセスト 判断ス</p>

23.

<p>23 1500 ← 1300</p>	<p>25 1200</p>	<p>25 1115</p>
<p>第五群ニ對シ敵機第三次來襲兩舷ニ約三〇機宛計約六十機今迄ノ被害調査ノ結果概ネ左ノ通ト判明</p> <p>一四一四 瑞鶴沈没 一五二七 瑞鳳沈没 〇八五七 秋月沈没</p> <p>初月、若月、桑校難ニ任ズ</p>	<p>可能瑞鶴通信不能 卷上之中ニル</p> <p>戰果撃墜數十機被害 秋月沈没千歳多摩ヲ落伍其、他損害アルモ概ネ十八節航行</p>	<p>KaMB機密二五二三六番電</p> <p>第六群ハ三三〇度方向ニ避退セヨ</p> <p>KaMB戰鬪速報(機密二五二三一番電)</p> <p>〇八三〇ヨリ一〇〇〇迄敵機約百機、來襲ヲ受ケ</p>

<p> 三其ノ他敵機約百五十機ト交戦 二命中撃破空母一乃至二 四隻甲級巡洋艦二隻驅逐艦一隻 一撃沈確實エンタープライズ型一ヲ含ム空母三乃至 母ヲ含ム敵カBヲスリガオ海峡北東海面ニ捕捉概 ネ一ニ〇〇頃迄ニ左ノ戦果ヲ與テタリ 一撃沈確實エンタープライズ型一ヲ含ム空母三乃至 四隻甲級巡洋艦二隻驅逐艦一隻 二命中撃破空母一乃至二 三其ノ他敵機約百五十機ト交戦 </p>	<p> 〇九三七 千歳(第六群)沈没 霜月救難 千代田(第六群)落伍 五十鈴 榎 救難 多摩(第六群)ハ被雷最大速力一三ノツトナル為 ヲ第六群指揮官ハ一五〇地点ハカヘヨリ單 獨中城灣ニ回航セシメタリ 當時IYB作戰ノ狀況 IYBハ黎明サンベルナルデノ海峡ヲ突破シ〇七一〇敵空 母ヲ含ム敵カBヲスリガオ海峡北東海面ニ捕捉概 ネ一ニ〇〇頃迄ニ左ノ戦果ヲ與テタリ 一撃沈確實エンタープライズ型一ヲ含ム空母三乃至 四隻甲級巡洋艦二隻驅逐艦一隻 二命中撃破空母一乃至二 三其ノ他敵機約百五十機ト交戦 </p>
--	---

24

YB 其ノ後レイテ湾突入ヲ企圖セルモ其ノ機ヲ得ズシテ北方ノ敵 KuB ニ向ヘルモ燃料其ノ他夜戦實施ノ見込ハタズ一七〇〇地点モキ一カハサンベルナルヂノ海峡通過コロン湾ニ向ヘリ

第三次空襲前後ニ於ケル KuMB 作戦指導ニ對スル
 一敵 情 況 判 断 茲ニ處置

當時敵飛行機ノ來襲方向及機数ヨリ判断スルニ KuMB ハ敵 KuB ノ二群ノ牽制ニ成功セルモノノ如ク既報ノ南方ノ外南西ニ更ニ一群アリ其ノ距離ハ 200 150 前後ヨリ次第ニ近ツキツアルモノト認ム
 二敵ノ空襲ニヨリ自隊ノ損害相當大ナル現在

25
08/15
0937

KaMB
戦闘概報 其二

判定
牽制誘致作戦ニ徹底シ好機ヲ得バ反撃
耦刺ヲ期スルトス速ニ第六群ヲ合同シ避退
針路ヲ〇方向ニ改ム

KaMB 戦闘遠報
敵KaB健全ノ為捕捉困難

反撃手スベキヤ又ハ牽制誘致ニ徹スベキヤニ就
キ判断
(1) 自隊ノ飛行機使用ノモ、皆無(大淀水偵
破損シアツ)
偵察能力攻撃能力ナシ
(2) 敵ノ位置不明

25